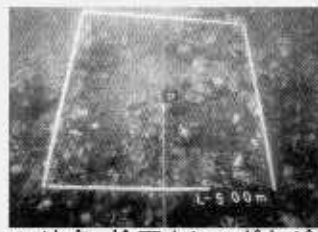


海底観察断面図（秋季及び冬季：測線L-5）

A.P.(m)



捨石上をマガキが被う。カキ殻上にタマキビガイが多数生息



0m地点、捨石上にマガキが多数着生。



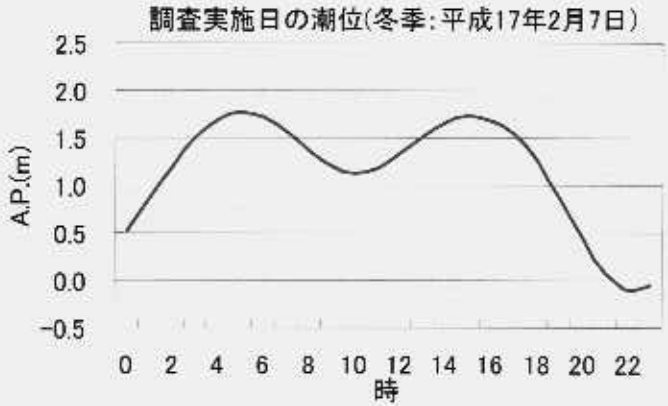
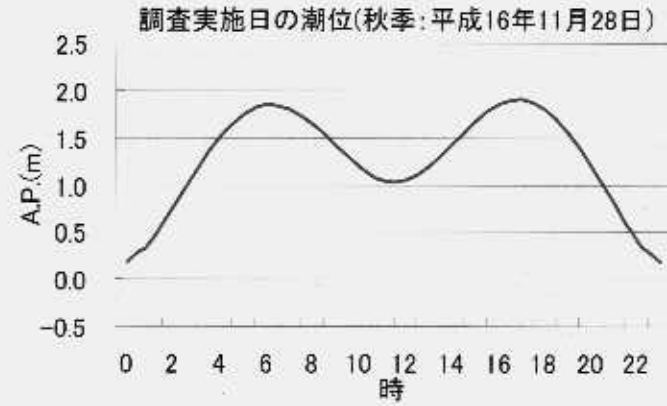
30m地点、底質はシルト。浮泥が厚く堆積する。



100m地点、底質はシルト。



120m地点、アラムシログイと直径1~2cmの生息孔（アナジャコ類と推定される）



(気象庁東京港潮位観測所データより作成。)



200m地点の海底の拡大。



250m地点の海底の拡大。



200m地点、シルト質の海底にアオサ属、ハネモ(共に緑藻類)、オゴノリ(紅藻類)が繁茂する。



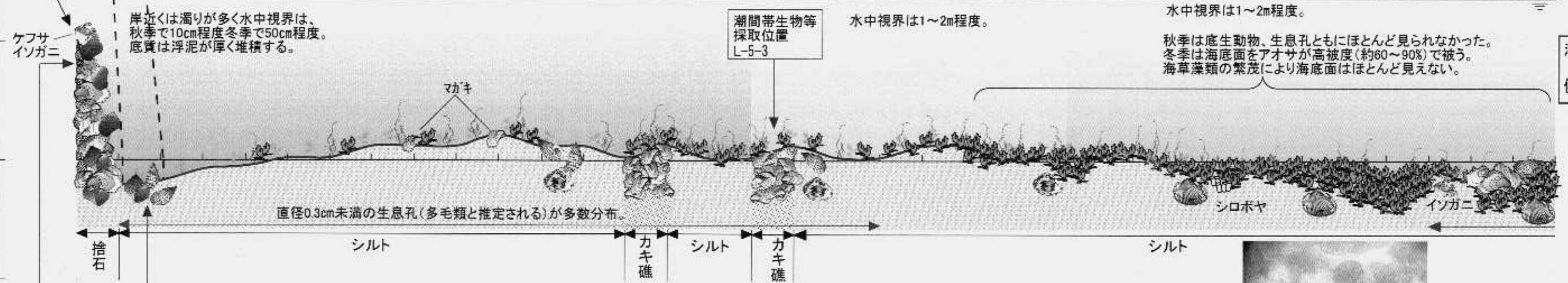
250m地点、シルト質の海底にアオサ属、ハネモ(共に緑藻類)、オゴノリ(紅藻類)が繁茂する。



330m地点、シルト質の海底にアオサ属、ハネモ(共に緑藻類)、オゴノリ(紅藻類)が繁茂する。

調査年月日：秋季 平成16年11月28日9:40~14:25
冬季 平成17年2月7日10:30~14:30

離岸距離(m)



潮間帯生物等採取位置 L-5-1

潮間帯生物等採取位置 L-5-2

※図中の水位線は、調査時間中の平均潮位を示している。

- | 貝類凡例 | | | | 海草藻類凡例 | | |
|--------|---------|--------|-----|--------|-----|------|
| | | | | | | |
| タマキビガイ | アラムシログイ | サルボウガイ | アサリ | アオサ属 | ハネモ | オゴノリ |



300m地点の海底の拡大。

沖側